

第4期（令和3年6月1日～令和4年5月31日）事業報告書

1. 会員について（報告：佐藤）

2022.5.31 現在、会員登録数 495 名（2021.6.30 時点 465 名、2020.6.30 時点 441 名）である。

会員登録の内訳

勤務・所属先種別内訳	人数	職種内訳	人数
病院	248 (240)	医師	20 (13)
大学	107 (100)	薬剤師	347 (332)
薬局	77 (73)	大学教員	67 (60)
製薬関連企業	35 (41)	学術（MR 含）	39 (34)
医療関連行政機関	4 (3)	研究員	6 (5)
医薬品関連企業・団体	24 (8)	学生	16 (21)

（ ）内の数値は 2021.6.30 の人数

※コロナ禍であっても、2年連続で増加した。

2. 委員長会議について（報告：佐藤）

①委員長会議の趣旨

各委員長は、委員長就任以来、日本医薬品安全性学会の委員会活動を行ってきた。しかし、これまでは他の委員会との連携が限られていたことから、本委員長会議で情報交換や意見交換を行なうことで、**委員会が相互に連携をとりながら効率よく活発に活動することを目的**として本会議を開催することとした。従って、本会議は、**日本医薬品安全性学会の活動の方向性を総合的に議論すること**とし、また、新たに設置された委員会については、**活動方針や他委員会との整合性等を相互に確認すること**、更には、**委員会全体が本学会の発展ならびに本学会会員の利益に貢献する活動となることを目的**とした会議とする。

②令和2年度・3年度の認定試験を2022年3月21日に実施した。

③活動部会規則が実際に則すよう、修正した。

3. 事務局から（報告：佐藤）

- ① 2021年9月3日（金）に理事の変更および事務局移転の登記が完了した。
- ② 役員、新社員ならびに委員会委員の先生方に委嘱状を送付した。
- ③ ホームページの更新を行ない、新理事長挨拶、定款、組織図、理事・監事・役員・委員会名簿を更新した。「第8回日本医薬品安全性学会学術大会」のホームページのバナーを掲載した。
- ④ 2021年10月18日（月）に銀行口座、10月29日（金）にゆうちょ銀行口座を移転した。
- ⑤ 「医薬品安全性・副作用ガイドブック」が2021年12月1日に出版され、株式会社南山堂と出版契約を行なった。
- ⑥ 第8回日本医薬品安全性学会大会事務局に開催支援金として500,000円を送金した。
- ⑦ 平田純生先生に名誉会員証を郵送にて送り授与した。
- ⑧ 本学会誌「医薬品安全性学」の国際標準刊行物番号(ISSN: International Standard Serial Number)を取得した。
- ⑨ 薬剤師研修センターに単位取得申請を行なった。
- ⑩ 東京都法人住民税の支払いを行なった。
- ⑪ 日本医薬品安全性学会認定試験実施に必要な経費として会場費、交通費、謝礼の支払いを行なっ

た。

- ⑫ 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「国民のニーズに応える薬剤師の専門性のあり方に関する調査研究」（研究代表者：神戸大学医学部附属病院教授・薬剤部長 矢野育子）のアンケート調査に回答した。

4. 学術活動について（報告：前田）

- ① 活動方針：日本医薬品安全性学会をアピールし会員を増やすことによって、本学会の活動概要である「医薬品のリスクから患者を守る．それが私達の使命です！」を広め、医薬品の安全性を追求し、適正な薬物療法に貢献していく。
- ② 第8回日本医薬品安全性学会学術大会 2022年8月20・21日 大会長：鈴木 映二先生(東北医科薬科大学)を企画した。
- ③ 第32回日本医療薬学会年会（高崎）2022年9月23～25日にシンポジウム「医薬品のリスクから患者を守る．それが私達の使命です！」を企画した。

5. 学会誌・編集について（報告：中村）

- ① 令和4年1月31日に第七巻2号を発刊した。新理事長就任挨拶、総説1報、一般論文2報、症例報告1報、医薬品安全性関連事例報告（有害事例、回避事例）、医薬品安全性指導者（DSD）・専門（DSSP）薬剤師の更新規認定者一覧の他、社員総会議事録、理事・評議員一覧などを掲載している。
- ② 令和4年6月30日に第八巻1号を発刊した。一般論文2報、症例報告2報、誌上シンポジウム1報、コラム、医薬品安全性関連事例報告（回避事例）、医薬品安全性指導者（DSD）・専門（DSSP）薬剤師・安全性情報スペシャリスト（CDSIS）の認定者一覧の他、理事・評議員一覧などを掲載している。裏表紙に第8回医薬品安全性学会学術大会のポスターを掲載した。

6. 本学会認定研究会について（報告：外山）

- ①現在の本学会認定研究会は、①新潟県医薬品安全性研究会、②広島県医薬品安全性研究会、③岡山副作用研究会、④東京（関東）医薬品安全性研究会、⑤東北医薬品安全性研究会、⑥静岡医薬品安全性研究会 の6団体であり、本学ホームページに記載した。
- ②広島県医薬品安全性研究会
第7回研究会「医薬品の副作用対策」2022.3.5(Web開催).
- ③東京（関東）医薬品安全性研究会
第5回研究会「安全性向上を目指して薬剤師が治療に介入するためのスキルアップ！！」2021.10.31(Web開催).
第6回研究会「バイオ医薬品とバイオシミラーを理解する」2022.2.26(Web開催).
- ④東北医薬品安全性研究会
第4回研究会「漢方薬の安全性」2022.2.23(Web開催).
- ⑤静岡医薬品安全性研究会
第13回研究会「医薬品リスク管理計画概要・利活用の紹介」「後期高齢者の腎機能低下による副作用は何が原因？どうやったら防げる？」2021.12.4(Web開催).

7. 認定制度活動について（報告：斎藤）

①2022.7.1 現在の DSD、DSSP、CDSIS の認定者（ホームページ上、学会誌掲載）

種別	人数
医薬品安全性指導者（DSD）	29（43）
医薬品安全性専門薬剤師（DSSP）	39（28）
医薬品安全性情報スペシャリスト（CDSIS）	8（7）

②2021 年度：DSD 申請者 0 名

DSSP 申請者 4 名⇒一次審査合格 4 名

CDSIS 申請者 4 名⇒一次審査合格 4 名

③今迄承認された事例報告は、ホームページ上に掲載（会員のみ開示可能）

2022.7.1 現在 583 症例（有害事例は 267 症例、回避事例は 316 症例）

④2022.7.1 現在の二次試験対象者

種別	人数
医薬品安全性指導者（DSD）	3
医薬品安全性専門薬剤師（DSSP）	3
医薬品安全性情報スペシャリスト（CDSIS）	5
計	11

⑤二次試験合格者には、認定証を作成し認定バッチとともに送付した。

8. 認定試験の実施について（報告：今給黎）

①令和 3 年度認定試験を令和 4 年 3 月 21 日（月）に全国 5 会場（東京、大阪、宮城、新潟、福岡）で実施。認定試験委員会委員、認定制度委員会委員、理事（和泉先生）の 10 名で対応。

②13 名受験申請し 12 名受験（1 名欠席）。11 名合格（1 名不合格）。結果については、認定制度委員会（齊藤先生）に報告済み。

9. 広報活動について（報告：和泉）

①全国に配置されている広報委員から学術大会等の広報を行なった。

②SNS 等の新たな広報ツールや手法などの利用を検討しているが、まだ FB が中心である。

10. 活動部会について（報告：鈴木）

①活動部会規則が実際に則すように修正した（別紙 6）。

②本学会ホームページ内に、本学会活動部会のサイトを新たに開設した。

③現在の本学会認定活動部会は、「医薬品副作用情報部会」の 1 団体であり、今後も追加予定である。

1 1. 第8回日本医薬品安全性学会学術大会について（報告：鈴木）

- ①メインテーマ：『当事者から学び、当事者に届く医薬品の安全性』
- ②会期：2022年8月20日（土）～8月21日（日）（オンデマンド～9月4日（日））
- ③会場：東北医科薬科大学（Web開催）
- ④プログラム：特別講演/教育講演6題、大会長講演、理事長講演、シンポジウム10題（大会長企画含む）、共催セミナー5題、スポンサード教育講演2題、ワークショップ1題
一般演題ポスター発表 31演題
- ⑤協賛企業・団体等：広告掲載22社、共催セミナー/スポンサード教育講演7社、寄付・助成2社

2021年度 日本医薬品安全性学会決算報告

貸借対照表

2022.5.31		(単位：円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
普通貯金	1,836,429	未払費用	0
郵便振替	10,667,871	未払法人税等	0
現金	0	前受金	14,000
		負債の部合計	14,000
		【次期繰越金】	
		前期繰越金	9,837,537
		当期収支差額	2,652,763
		正味財産の部合計	12,490,300
資産の部合計	12,504,300	負債及び正味財産合計	12,504,300

正味財産増減計算書

2021.6.1~2022.5.31		(単位：円)		
科目	合計金額	収益事業	非収益事業	備考
I 収入の部				
(1) 会費収入				
正会員会費	2,505,000		2,505,000	
賛助会員会費	0		0	
会費収入計	2,505,000	0	2,505,000	
(2) 事業収入				
学術大会残金	213,255		213,255	
第6回学術大会運営費立替払い返金	1,583,928		1,583,928	
広告収入	0		0	
論文審査料	30,000		30,000	
論文掲載料	401,500		401,500	
認定資格審査料	390,000		390,000	
事業収入計	2,618,683	0	2,618,683	
(3) 受取寄付金	0		0	
(4) 雑収益	59,890	0	59,890	
収入の部合計	5,183,573	0	5,183,573	
II 支出の部				
事業費				
(1) 学術大会				
学術大会助成金	500,000		500,000	
学術大会経費計	500,000	0	500,000	
(2) 学会誌発行				
学会誌発行費	775,830		775,830	
学会誌発行経費計	775,830	0	775,830	
【事業費合計】	1,275,830	0	1,275,830	
管理費				
印刷費	52,690		52,690	
通信交通費	37,940		37,940	
消耗品費	14,264		14,264	
HP作成・管理費	123,860		123,860	
事務局委託費	821,381		821,381	
会議費	36,300		36,300	
振込手数料	4,345		4,345	
租税公課	14,500		14,500	
諸謝金	24,000		24,000	
登記変更申請料	125,700		125,700	
【管理費合計】	1,254,980	0	1,254,980	
支出の部合計	2,530,810	0	2,530,810	
当期正味財産増減額	2,652,763	0	2,652,763	
正味財産期首残高	9,837,537			
正味財産期末残高	12,490,300			

2021年度 一般社団法人日本医薬品安全性学会
会計監査報告書

一般社団法人 日本医薬品安全性学会
理事長 佐藤 光利 殿

監事 宇野 勝次 

監事 小茂田 昌代 

2021年度（2021年6月1日～2022年5月31日）

日本医薬品安全性学会会計について、諸帳簿、収支決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果、その内容が適正かつ経理事務が正確であることを証明します。

1. 監査期間

2021年6月1日～2022年5月31日

2. 監査期日

2022年7月15日

3. 監査対象

2021年度 日本医薬品安全性学会会計

第5期（令和4年6月1日～令和5年5月31日）事業計画書

1. 「会員」・「社員」について（報告：佐藤）

- ①学会員が活動しやすい環境を整備し会員数を増やすよう努力する。
- ②本学会の将来を見据えて、若手会員が本学会で活発に活動し、社会貢献できるよう支援する。
- ③医薬品の副作用の専門知識や副作用の発生防止・予防に関する知識・技能を身に着けるためのDSD、DSSP、CDSISを「社員」に推奨する。
- ④九州地区、北海道地区、大阪・近畿地区に本学会認定研究会の設立を目指す。

2. 新社員（評議員）について（報告：佐藤）

提出書類の審査の結果、下記8名の候補者を社員（評議員）とすることとした。

氏名	所属・役職	推薦者
吉田 真	中外製薬株式会社安全性推進部・部長	佐藤光利、今給黎修、外山 聡
井上 彰夫	鹿児島県薬剤師会薬事情報センター・所長	和泉 智、今給黎修、外山 聡
西原 昌幸	太田川病院・薬剤部長	外山 聡、今給黎修、佐藤光利
朝田 瑞穂	明治薬科大学・医療分子解析学研究室・助教	植沢芳広、佐藤光利、鈴木映二
野澤 玲子	明治薬科大学・臨床神経薬理学研究室・准教授	佐藤光利、外山 聡、今給黎修
平井 成和	東邦大学医療センター佐倉病院 薬剤部・主任	佐藤光利、鈴木映二、植沢芳広
鈴木 典子	共立習志野台病院・薬剤科長	佐藤光利、鈴木映二、植沢芳広
関口 博通	株式会社日の丸薬局・練馬区薬剤師会相談役	佐藤光利、鈴木映二、植沢芳広

3. 第10回（2024年度）日本医薬品安全性学会学術大会長（報告：佐藤）

➤ 外山 聡（新潟大学医歯学総合病院薬剤部長）

7月28日（木）に開催された理事会で、2024年度開催予定の学術大会長に新潟大学医歯学総合病院薬剤部長 外山 聡 教授を選任した。外山氏は、現在、本学会の副理事長であり、また、毎年、他の学会を開催するなど会長としての経験も豊富で学会等の運営に秀でており、大学病院薬剤部長として製薬企業との連携も可能であり適任者である。

4. 感謝状と記念品の贈呈について（報告：鈴木）

本学会に対して学会設立以来、学会の発展ならびに医薬品安全性学の普及に多大な貢献をした 宇野勝次 先生に感謝と敬意を表して賞状をお贈りする。宇野先生は、2014年5月本学会の設立以来7年間理事長を務め、その間、2015年7月に大会長として「第1回日本医薬品安全性学会学術大会」を開催し、2018年9月に本学会を一般社団法人とした。宇野先生が中心となって執筆された「医薬品副作用アセスメント」および「医薬品副作用・安全性ガイドブック」の発刊、各地域での研究会活動の啓蒙、薬剤アレルギー反応に対する高感度検査法の開発など、医薬品の安全性に関する貢献度は他に類を見ない。そこで本年、宇野勝次先生に感謝と敬意を表し、感謝状と記念品を贈呈することとした。

5. 学術活動について（報告：前田）

- ①活動方針：日本医薬品安全性学会をアピールし会員を増やすことによって、本学会の活動概要で

ある「医薬品のリスクから患者を守る、それが私達の使命です！」を広め、医薬品の安全性を追求し、適正な薬物療法に貢献していく。

- ②第8回日本医薬品安全性学会学術大会 2022年8月20・21日 大会長：鈴木 映二先生(東北医科薬科大学)。オーガナイザー：月岡先生が学術委員会企画として、「リフィル制度導入のポイントと医薬品安全性に求められる薬剤師の役割」のシンポジウムを開催します。
- ③第32回日本医療薬学会年会（高崎）2022年9月23～25日にシンポジウム「医薬品のリスクから患者を守る、それが私達の使命です！」を現地開催いたします。

6. 学会誌の発行について（報告：中村）

- ①引き続き6月と12月に、学会誌8巻1号および2号をそれぞれ発行する。
- ②新たなシリーズ企画として、コラム「副作用データベースを用いた医薬品の安全性評価」を今後連載していく。執筆者は植沢芳広先生に依頼。
- ③医薬品安全性学8巻1号でDSD、DSSPおよびCDSIS認定資格更新者一覧を掲載した。
- ④一般社団法人日本医薬品安全性学会「社員名簿」および「役員・委員会名簿」の新しい名簿を8巻1号に掲載した。
- ⑤編集委員のメンバーに編集担当を分散したところ、査読から掲載可否の決定までの効率化が図られている。
- ⑥ウェブ会議・メール会議を効率的に活用して、各号の編集会議を行っている。

7. 広報活動について（報告：和泉）

- ①引き続き、全国に配置されている広報委員がそれぞれの地域の特徴を生かして広報を行なう。
- ②SNS等の新たな広報ツールや手法などをさらに検討する。
- ③学会を紹介するパンフレット作成について検討する。

8. 研究会について（報告：外山）

- ①学会ホームページを随時更新する。
- ②毎年 の定時理事会（通例では学術集会の前日に開催される）の1か月前を目途に、オンライン（Zoomを想定）で認定研究会委員会を開催する。
- ③各認定研究会、および医薬品安全性学会の運営の参考とするため、各研究会でアンケートを行う。

9. 認定制度活動について（報告：齊藤）

- ①DSSP取得に必要な事例報告などの協議については薬剤師委員（5名）のみで会議を別途随時開催する。
- ②「1次審査（書類審査）」の審査の実施については、DSSP、DSDは薬剤師委員、CDSISは吉田副委員長が審査し、医師のDSD申請があった場合、藤森オブザーバーに相談する。
- ③学会誌に事例報告を掲載する。
- ④DSD認定審査基準の書籍執筆のウエイトについて見直しを行なう。
- ⑤第2回DSSP、DSD認定資格更新の審査を実施する。
- ⑥学術大会でのシンポジウムを企画し、認定資格取得の向上を支援する。
- ⑦「認定制度委員会」及び「認定試験委員会」に役割や位置づけに関して調整し、協議する。

10. 認定試験の実施について（報告：今給黎）

- ①令和4年度の認定試験を実施予定（第8回学術大会がWEB開催となり、開催日は未定）。

- ②令和4年度の認定試験問題作成予定。
- ③「医薬品副作用アセスメント」及び「医薬品副作用・安全性ガイドブック」を試験範囲とする予定。

1.1. 活動部会について（報告：鈴木）

- ①活動部会の方針として、若手を起用することで若手の活躍を支援する。
- ②活動部会の知名度を上げる。
- ③他の活動部会を増やしていく。

1.2. 第9回（2023年度）日本医薬品安全性学会学術大会について（報告：佐藤）

- ①大会長：佐藤 光利（明治薬科大学医薬品安全性学研究室 教授）
- ②テーマ：未来へつなげる新時代への医薬品の安全性
- ③会 期：2023年7月16日（日）～17日（月・祝）
- ④会 場：明治薬科大学 フロネシス・講堂（〒204-8588 東京都清瀬市野塩 2-522-1）
- ⑤主 催：一般社団法人 日本医薬品安全性学会
- ⑥後 援：公益社団法人 日本薬学会、公益社団法人 日本薬剤師会、一般社団法人 日本病院薬剤師会、公益社団法人 東京都薬剤師会、一般社団法人 東京都病院薬剤師会、一般社団法人 千葉県病院薬剤師会
- ⑦参加者：約 500 名（見込み）
- ⑧プログラム：会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、スポンサードシンポジウム、一般演題（ポスター）、ランチョンセミナー、よくわかるセミナー、ワークショップ、企業展示 を予定

1.3. 学術大会準備費一時借入制度の導入について（報告：佐藤）

これまでに開催された学術大会決算報告書を見ると学術大会開催には、約1千万～1千3百万円の開催費が必要である。これらの資金は、企業からの協賛金、寄付金、広告掲載料や参加費等によって賄われるが、すべての振込みが学会事務局へ完了するのは、学術大会終了後であり、**学術大会の準備を行う段階では、一時的に資金が不足する状況に陥る**。特に、開催準備開始初期の大会ポスターやホームページ作成費用については、学術大会事務局の銀行口座に資金がない状態での契約を強いられることになり、ポスターやホームページの作成が遅れることにより学術大会のアナウンスが遅延することになる。また、学会支援会社との契約にも支障が生じる可能性がある。

そこで、学術大会開催準備のために必要になる一時的な資金不足を解消することを目的として**一時借入制度を導入することを提案**する。本制度は、次年度の学術大会事務局は、300万円を上限として日本医薬品安全性学会から**学術大会開催準備を目的として資金を一時的に借り入れることを可能とし、同一年度内に同額を返還することとする制度**である。なお、この借入に対する利息は無利息とする。また、振り込み手数料等は、振り込み者が負担するものとする。

日本医薬品安全性学会 2022年度予算案（2022年6月1日～2023年5月31日）

【収入の部】

(単位：円)

科 目	金 額	予算説明
年会費	2,800,000	7,000円×400人
論文審査料	30,000	3,000円×10件
論文掲載料	300,000	5,000円×60頁
認定資格審査料	100,000	10,000円×10人
雑収入	50,000	印税等
前年度繰越金	12,490,300	
合計	15,770,300	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	金 額	予算説明
事業費		
学術大会助成金	500,000	第9回日本医薬品安全性学会学術大会
学会誌発行費	800,000	株式会社新潟印刷
管理費		
事務局委託費	1,200,000	株式会社ソウブン・ドットコム
HP管理費	150,000	株式会社プレスユー
租税公課	70,000	法人都民税、法人市民税
印刷費	50,000	認定証、名誉会員証、感謝状
会議費	30,000	会議室料
通信交通費	30,000	
振込手数料	5,000	
消耗品費	15,000	
予備費	430,000	
次年度繰越金	12,490,300	
合計	15,770,300	

※科目間の流用を認めるものとする。

活動部会規則修正に関する資料

活動部会規則

第1章 総則

第一条 近年、高度な薬物療法の進展に伴い、安全な薬物治療を推進する上で、医療従事者の疾患領域ごとの専門性が問われる時代を迎えている。そこで、社会の要請に応え、一般社団法人日本医薬品安全性学会の活動の更なる活性化を意図し、活動部会を設置する。

第2章 活動部会委員会

第二条 第三条第一条の活動部会を統率するために、活動部会委員会を設置する。

第三条 活動部会委員長（以下委員長）は理事会が選出した理事がなり、理事長が委嘱する。

2 委員長が、活動部会長（以下部会長）を兼任することを妨げない。

第四条 本委員会は、理事会が選出した委員および部会長によって構成され、委員長の要請により召集される。

第3章 活動部会（以下部会）

第五条 部会は、部会長になる会員から申請があったものについて委員長が審査して承認し、部会長は理事長が委嘱する。なお、部会設置の申請は、別紙申請書にて行う。

第六条 各部会には、オブザーバーとして、各領域について十分な知識や経験を有する相談役を置くことができる。

第七条 部会員は、部会長から申請があった会員とし、人数の制限や任期を設けない。

第八条 部会は、各領域における会員への啓発活動として、研修会、学会でのシンポジウム、ワークショップなどの企画、学術雑誌への論文投稿などを行う。

付則

本規則は、令和3年8月1日に施行する。

本規則は、令和4年3月1日に施行する。

活動部会設置申請書

活動部会名				
活動内容	※記載しきれない場合には別紙を添付して下さい。			
役員	名前	JASDS	所属	役職
活動部会長				
オブザーバー				
活動部会員				

※オブザーバー不在の場合には、空欄で提出してください。

注) 必要に応じて追加資料の提出を求めることがありますことをご了承ください。